

定理 2.20 代数系の集合において代数系の同型関係は同値関係である。

【証明】

を代数系の集合とする。

- (1) 反射性： の任意の代数系 $\langle A, * \rangle$ に対して， A 上の恒等関数 I_A は $\langle A, * \rangle$ 自身への同型写像である。よって， $\langle A, * \rangle \cong \langle A, * \rangle$ である。
- (2) 対称性： の任意の代数系 $\langle A, * \rangle$ と $\langle B, \circ \rangle$ に対して， $\langle A, * \rangle \cong \langle B, \circ \rangle$ であれば，ある全単射関数 $f: A \rightarrow B$ が存在して， A の任意の要素 a_1 と a_2 に対して，式 $f(a_1 * a_2) = f(a_1) \circ f(a_2)$ が成り立つ。 f は全単射関数であるから， f の逆関数 f^{-1} が存在し， f^{-1} もまた B から A への全単射関数である。よって， B の任意の要素 b_1 と b_2 に対して， A の要素 a_1' と a_2' が存在して， $f^{-1}(b_1) = a_1'$ かつ $f^{-1}(b_2) = a_2'$ である。すなわち， $f(a_1') = b_1$ かつ $f(a_2') = b_2$ である。ゆえに，

$$\begin{aligned} f^{-1}(b_1 \circ b_2) &= f^{-1}(f(a_1') \circ f(a_2')) \\ &= f^{-1}(f(a_1' * a_2')) \\ &= a_1' * a_2' \\ &= f^{-1}(b_1) * f^{-1}(b_2) \end{aligned}$$

である。すなわち，関数 f^{-1} は $\langle B, \circ \rangle$ から $\langle A, * \rangle$ への同型写像である。ゆえに， $\langle B, \circ \rangle \cong \langle A, * \rangle$ である。

- (3) 推移性： の任意の代数系 $\langle A, * \rangle$ と $\langle B, \circ \rangle$ と $\langle C, \cdot \rangle$ に対して， $\langle A, * \rangle \cong \langle B, \circ \rangle$ かつ $\langle B, \circ \rangle \cong \langle C, \cdot \rangle$ であるとき，ある全単射関数 $f: A \rightarrow B$ と $g: B \rightarrow C$ に対して，合成関数 $g \circ f$ は A から C への全単射関数である。 A の任意の要素 a_1 と a_2 に対して，

$$\begin{aligned} g \circ f(a_1 * a_2) &= g(f(a_1 * a_2)) \\ &= g(f(a_1) \circ f(a_2)) \\ &= g(f(a_1)) \cdot g(f(a_2)) \\ &= g \circ f(a_1) \cdot g \circ f(a_2) \end{aligned}$$

ゆえに， $\langle A, * \rangle \cong \langle C, \cdot \rangle$ である。

よって， の代数系の同型関係は同値関係である。